

[別紙]

セキュアファイル交換サービススペックシート

メール連携オプション

2026 年 8 月 7 日現在

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

目次

I.	アプリケーション仕様	3
①	機能概要	3
②	オプション利用に伴う制約事項	3
③	対応言語	3
④	ブラウザ環境	3
⑤	動作検証環境	3
⑥	ファイル暗号化方式	4
⑦	ウイルスチェック	4
⑧	性能	4
⑨	受理可能なメール・添付ファイル形式	5
II.	システム仕様	6
①	システム構成	6
②	システム監視基準	6
③	障害通知間隔	6
④	障害対策	6
III.	サービス仕様	8
①	サービス時間	8
②	お客様サポート	8
③	アップグレード方針	8
④	サービス停止連絡	8
⑤	障害発生連絡	8
⑥	関係当局との連絡	8
⑦	本オプションご利用における役割及び責任の分担	8
⑧	情報のラベル付け	9
⑨	適用法令及び契約上の要求事項の特定	9
⑩	ユーザの権利	9
⑪	記録の保護	9
⑫	禁止事項	9
⑬	データセンターの所在地	10
⑭	セキュリティチェックシート対応	10
IV.	データ・ファイル管理仕様	11
①	データ・ファイル保存要件	11
②	データ・ファイル消去要件	11
③	データ・ファイル返却・除去要件	11

④	データ・ファイルの削除メカニズム	11
⑤	システムログ保存要件	12
V.	セキュリティ仕様	13
①	本番システムへのアクセス	13
②	通信の暗号化	13
③	外部からの不正アクセス対策	13
④	アプリケーションに関する第三者評価	13
⑤	技術的脆弱性の管理	13
⑥	情報セキュリティの役割及び責任	13
⑦	情報セキュリティ要求事項の分析及び仕様化	13
⑧	情報セキュリティに配慮した開発のための方針	14
⑨	情報セキュリティインシデント管理	14
⑩	利用者の秘密認証情報の管理	14
⑪	実務管理者の運用セキュリティ	14
⑫	情報セキュリティの独立したレビュー	14
⑬	メールの送信ドメイン認証	14

I. アプリケーション仕様

以下に定める内容で「クリプト便 メール連携オプション」(以下、「本オプション」)をご利用いただけます。ただし、弊社判断にて内容を見直す場合がございます。

① 機能概要

本オプションは、ユーザがメールクライアントから送信した添付ファイル付の電子メールから添付ファイルを分離し、クリプト便で送信するためのオプションサービスです。

なお、クリプト便へのファイルアップロードの際は送受信APIを利用しております。

② オプション利用に伴う制約事項

本オプションを利用するために、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- ・ ユーザが送信したメールのうち、添付ファイル付メールのみを抽出してメール連携ゲートウェイに転送する
- ・ メール連携用ユーザのパスワード有効期限を無期限に設定する
- ・ 端末認証オプションを利用していない、もしくは利用している場合でもメール連携用ユーザにクライアント証明書認証の適用を除外できる
- ・ 認証連携オプションを利用していない、もしくは利用している場合でもメール連携用ユーザのログイン方法としてクリプト便 ID でのログインを併用させることができる
- ・ ユーザが送信するメールは SPF 認証に成功する
- ・ ユーザが送信するメールに DKIM 署名を付与している場合、DKIM 署名の検証に成功する

③ 対応言語

本オプションでは原則として日本語で機能提供いたしますが、一部の機能(※)は英語で提供する場合がございます。

※システムから送信されるエラー通知メール等が該当します。

④ ブラウザ環境

ファイルのダウンロードを行う際、クリプト便へのアクセスが必要となります。

クリプト便の動作検証環境については「クリプト便オンラインマニュアル」をご確認ください。

⑤ 動作検証環境

本オプションは、以下のメールサーバとメールクライアントの組み合わせで、動作確認を行っております。詳細はマニュアルにてご確認ください。

<メールサーバ>

以下のサービスが標準提供するメールサーバから本システムに対して、SMTP リレーされたメールを確認対象としています。

- Microsoft Exchange Online
- Gmail (Google Workspace の各プランに付属するもの)

<メールクライアント>

- Microsoft Outlook for Microsoft 365 MSO
 - Outlook for Windows (別称: 新しい Outlook for Windows)
 - Outlook on the web
 - Gmail の標準 Web クライアント
-
- 当社が動作検証している環境は、各サービス・クライアントの初期設定に対して、マニュアルに記載している所定の設定変更を適用したうえで動作検証を行っております。
 - 動作検証している環境であっても、PC のセキュリティ設定やセキュリティソフトのご利用状況等、お客様のご利用環境によっては、本オプションをご利用いただけない場合がございます。
 - お客様のご利用環境に起因して、本オプションをご利用頂けない場合は、当社より設定変更をお願いする場合がございます。その際、お客様のご都合により設定変更にかかる費用が伴う場合等も、当社はその責任を負いかねます。
 - 動作検証環境は、いずれも 2026 年 8 月現在のものです。今後予告なく変更する可能性があります。

⑥ ファイル暗号化方式

ファイルはシステム格納時に AES256 で暗号化されます。輸出規制の対象となる暗号化の利用はございません。

⑦ ウイルスチェック

本オプションを利用してファイルをアップロード、ダウンロードする際、ウイルスチェックが行われます。ウイルスチェックでウイルスを検知した場合にはアップロード、ダウンロード処理は失敗します。

クリプト便におけるウイルスチェックの仕様については「クリプト便オンラインマニュアル」や「セキュアファイル交換サービススペックシート」をご確認ください。

⑧ 性能

- ご利用の PC 性能、ネットワーク速度等によって処理速度に変化があります。
- 通常、ユーザが添付ファイル付メールを送信してから受信者にクリプト便と送信メールが届くまで数分程度かかりますが、システムの負荷状況によってはさらに時間を要する場合がございます。
- 一時的なエラーまたは障害等が発生した場合、処理に時間を要することや、送信に失敗する場合がございます。

⑨ 受理可能なメール・添付ファイル形式

本オプションにて受理可能なメールおよび添付ファイルの形式は、マニュアルにて定めます。同制約に該当しないメール・添付ファイルの動作は不定です。以下に、代表的な制約を示します。

- システムで受理可能なメールは、RFC 5322 に準拠している必要があります。
- 本オプションを利用して送信できるメールの最大サイズは 40MB です。更に、添付ファイルを除くメッセージの合計サイズを、10MB 未満に保つ必要があります。
- メール送信時の宛先数は、To、Cc、Bcc を合わせて 50 件が上限です。50 件を超えて送信することはできません。

II. システム仕様

① システム構成

- ・本オプションの提供にはクリプト便のほか、他社サービスを利用して構成しております。
- ・本オプションの提供に必要なシステムは冗長化を行っております。
- ・当社判断によりシステムのスケールアップ/ダウンやスケールアウト/インを実施する場合がございます。
- ・本オプションにおける時刻の同期は、Amazon Time Sync Service を利用しており、お客様のシステムと時刻を同期する仕組みは提供しておりません。
- ・クリプト便の時刻同期の仕様については「セキュアファイル交換サービススペックシート」をご確認ください。

② システム監視基準

以下のシステム監視を 24 時間 365 日行います。

- ・ サービス監視
メール送信時のバウンス率、受信者からのスパム報告率、送信メール数、処理パフォーマンス、エラー発生状況、各種リソースの使用率など
- ・ ログ監視
本オプションを構成するシステムにおける各種ログの監視
- ・ ネットワーク監視
本オプションを構成するネットワークサービスの稼働監視
- ・ セキュリティ監視
不正アクセス、マルウェア、データ流出の監視

③ 障害通知間隔

監視対象にて障害を検知した場合、10 分程度(監視対象により変動)の間隔で障害を検知し、当社担当者へ通知します。

④ 障害対策

- ・ 冗長化を実施しているため、障害時は自動的に待機系への切り替え等を実施し、サービス停止を最小限にいたします。
- ・ 待機系への切り替え等が発生した際、一時的な通信断やセッション断が発生する場合がございますが、再度アクセスすることで通常通りサービスをご利用頂くことが可能です。

- 各種障害発生時についての RPO(目標復旧時点)および RTO(目標復旧時間)については下記の通りです。

<RPO>

通常復旧: データロスなし ※処理中のメール等を除く

バックアップ復旧: 24 時間

<RTO>

単一障害: 数秒～数十秒

広域障害: 数時間～12 時間程度

- その他の障害対策に関しては、クリプト便に準じます。詳細は「セキュアファイル交換サービススペックシート」をご確認ください。

III. サービス仕様

① サービス時間

クリプト便に準じます。

詳細は「セキュアファイル交換サービススペックシート」をご確認ください。

② お客様サポート

クリプト便に準じます。

詳細は「セキュアファイル交換サービススペックシート」をご確認ください。

③ アップグレード方針

- ・バージョンアップは、当社判断により適宜実施いたします。
- ・バージョンアップに伴う機能変更点については、リリースノートに記載いたします。
- ・マニュアル、リリースノートは日本語版のみ提供いたします。

④ サービス停止連絡

クリプト便に準じます。

詳細は「セキュアファイル交換サービススペックシート」をご確認ください。

⑤ 障害発生連絡

障害時はクリプト便に登録されているアナウンス連絡先および、障害時連絡先にご登録されているメールアドレスに通知いたします。

また、クリプト便のユーザ画面および管理者画面が稼動していれば、逐次、状況をお知らせします。

ただし、冗長化が想定通り機能した場合における、待機系への切り替え等に伴う一時的な通信断やセッション断については原則として通知を行いません。

⑥ 関係当局との連絡

当社の本社所在地は、東京都千代田区大手町 1-7-2 東京サンケイビルとなります。なお、本オプションの利用に伴って保存されるデータの所在地は日本国内となります。

⑦ 本オプションご利用における役割及び責任の分担

本オプションに関して当社が担当する責任範囲は以下の通りです。

1. 本オプションに関する機能開発・脆弱性対応・不具合への対応

2. クリプト便を含む、本オプションを提供するために弊社が管理するシステムの保守・運用
3. 同システムの性能テスト・アセスメント
4. 上記 1,2,3 に関わる全ての費用負担

本オプションを利用するお客様が担当する責任範囲は以下の通りです。

5. 本オプションを利用する際にお客様に実施頂く必要のある全ての作業
6. 本オプションを利用する際に必要なお客様管理のサービス・システム等の保守・運用
7. 当社から公開されるクリプト便を含む、本オプションの変更内容確認、及びお客様管理のサービス・システム等への影響確認、修正
8. メール連携ゲートウェイと接続する際の TLS 暗号化および TLS 証明書検証
9. 上記 5,6,7,8 に関わるすべての費用負担

⑧ 情報のラベル付け

本オプションに関する契約情報はクリプト便のセクション管理者画面にてご確認頂くことが可能です。また、お客様の情報は「セクション ID」等のラベル付けを当社がシステム上でを行い、管理・識別しております。

⑨ 適用法令及び契約上の要求事項の特定

本オプションの提供に必要なシステムは日本国内に設置しております。本サービスのご利用に関しては日本国法が適用されます。詳細は「セキュアファイル交換サービス約款」をご参照下さい。

⑩ ユーザの権利

本オプションは、クリプト便と連携するためのプラットフォームのみを提供するものであり、ユーザはアップロードするファイルに関しての所有権・著作権・知的財産権を引き続き保持します。

⑪ 記録の保護

お客様の契約情報の保護や廃棄については、社内規定に定め、定期的に検査を実施し、適切に管理しております。

⑫ 禁止事項

本オプションを利用する上で、他のお客様に迷惑のかかる下記行為は禁止いたします。

- ・ 本オプションの提供に必要なシステムに負荷をかける接続テスト
- ・ 同システムに対するアセスメントテスト等、脆弱性を探す行為
- ・ 通常の操作では発生しない、大量のメールを同システムへ送信する行為
- ・ 当社が公開しているマニュアルに記載のない機能の使用
- ・ その他、クリプト便や本オプションの運営・提供に支障をきたす行為

⑬ データセンターの所在地

本オプションの提供に関わるクリプト便以外のシステムについては、他社が管理する日本国内のデータセンターに設置されております。なお、他社管理のデータセンターに対する立ち入り検査を行うことはできません。

⑭ セキュリティチェックシート対応

クリプト便に準じます。

詳細は「セキュアファイル交換サービススペックシート」をご確認ください。

IV. データ・ファイル管理仕様

① データ・ファイル保存要件

- データ

データベースに格納されているデータは、日次にてバックアップします。

バックアップデータは2週間分を保存し、システム障害時等に当社判断にてこれを利用いたします。バックアップデータは当社のみ利用可能です。なお、バックアップからのデータ復旧方法や所要時間については、障害状況によって異なります。

- ファイル

お客様が本オプションを利用して送信したファイルは、クリプト便にアップロードする過程で弊社管理の暗号鍵を利用し、AES256にて暗号化して一時保管致します。ユーザが送信したファイルをバックアップする機能はございませんので、障害でファイルが消失した場合は、再送信をお願いいたします。

クリプト便へのアップロードが完了したファイルについては、クリプト便に準じます。詳細は「セキュアファイル交換サービススペックシート」をご確認ください。

② データ・ファイル消去要件

本オプションの解約時・サービス終了時に、本オプションに関するデータ・ファイルはすべて削除します。また、本オプションを利用する際に一時保管されたファイルは92日経過後、自動的に削除されます。

③ データ・ファイル返却・除去要件

本オプションの解約時・サービス終了時にデータ・ファイルの返却は実施いたしません。クリプト便が提供する機能を利用することで取得できる範囲に限り、情報の取得が可能です。

個社ごとのデータ・ファイル移行支援等は承っておりませんので、必要な情報についてはお客様のご判断にて取得をお願いいたします。

また、ご依頼いただければ削除証明書を発行いたしますが、解約時・サービス終了時以外の削除証明書発行は原則として承っておりません。

④ データ・ファイルの削除メカニズム

- データ

データベース内のデータレコードを物理削除いたします。

- ファイル

ストレージから削除します。削除後の復元は不可能です。

⑤ システムログ保存要件

システムのログはサーバ毎に取得され、日次および週次でバックアップされます。前回バックアップから障害発生までのログは消失する可能性があります。ログの保存期間は5年です。

V. セキュリティ仕様

① 本番システムへのアクセス

クリプト便に準じます。詳細は「セキュアファイル交換サービススペックシート」をご確認ください。

② 通信の暗号化

本オプションを利用してメール送信を行う際の SMTP 通信は、STARTTLS もしくは TLS Wrapper に対応しています。TLS は TLS1.3/TLS1.2 に対応しています。

なお、輸出規制の対象となる暗号化の利用はございません。

クリプト便の通信の暗号化に関しては、「セキュアファイル交換サービススペックシート」をご確認ください。

③ 外部からの不正アクセス対策

- ・ 不正アクセスの検知・遮断

アクセスの内容によっては通信の遮断を行う場合があります。

- ・ ウイルス・マルウェア対策

メール送信時およびクリプト便へのファイルアップロード・ダウンロード時にウイルスチェックを行います。

- ・ ファイル改ざん検知

不正アクセス及びウイルス・マルウェアにより、システム内ファイルの改ざんが行われていないか自動チェックを実施しております。

④ アプリケーションに関する第三者評価

当社の専門チームによる、システムのセキュリティ診断を実施いたします。

⑤ 技術的脆弱性の管理

バージョンアップ前に脆弱性診断を実施しております。また、脆弱性情報の収集を行い、必要に応じて対策を行うとともにクリプト便に登録されたアナウンス連絡先等への通知を行います。

⑥ 情報セキュリティの役割及び責任

本書の他、「セキュアファイル交換サービス約款」や「セキュアファイル交換サービススペックシート」にて、役割及び責任を明記しております。

⑦ 情報セキュリティ要求事項の分析及び仕様化

本オプションに関する情報セキュリティ対策及び機能については、本書の他、本オプションに関するマニュアルをご参照ください。

⑧ 情報セキュリティに配慮した開発のための方針

本オプションの提供に必要なシステムは自社の開発ガイドラインに従って開発を行っております。

⑨ 情報セキュリティインシデント管理

クリプト便に準じます。詳細は「セキュアファイル交換サービススペックシート」をご確認ください。

⑩ 利用者の秘密認証情報の管理

本オプションにて利用するクリプト便のアカウントのパスワード等の認証情報は、原則お客様にて管理頂きます。

⑪ 実務管理者の運用セキュリティ

本オプションの利用に必要な操作手順については、マニュアルを提供しております。

⑫ 情報セキュリティの独立したレビュー

- ・ 本オプションをご利用中もしくはご利用を検討されているお客様が定めるチェックシート等について回答を行っております。
- ・ 本オプションが利用している他社サービスについては、当社エンジニアへのヒアリング等を有償にて承っております。

⑬ メールを送信ドメイン認証

クリプト便に準じます。詳細は「セキュアファイル交換サービススペックシート」をご確認ください。なお、送信元メールアドレスがお客様にて管理されているドメインの場合、送信ドメイン認証に必要な DNS 設定 (SPF/DKIM/DMARC 等) はお客様ご自身でご対応いただく必要がございます。

また、ユーザが本オプションを利用して送信したメールにつきましては、新たに DKIM 署名を付与した上で送信しております。